

会 議 記 録

会議名 予算特別委員会建設分科会

開催日 平成31年3月14日(木) 開会 午前10時20分

閉会 午前11時05分

出席者 委 員 分科会長 青 木 一 男

森 戸 雅 孝 大 谷 好 一 小久保 かおる

氏 家 晃 千 葉 正 弘 中 島 克 訓

議 長 大阿久 岩 人

傍 聴 者 浅 野 貴 之 川 上 均 古 沢 ちい子

坂 東 一 敏 茂 呂 健 市 内 海 成 和

針 谷 育 造 入 野 登志子 白 石 幹 男

永 田 武 志 針 谷 正 夫 小 堀 良 江

梅 澤 米 満 福 田 裕 司

事務局職員 事務局長 稲 葉 隆 造 議事課長 金 井 武 彦

主 査 藤 澤 恭 之 主 査 岩 川 成 生

委員会条例第21条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

建設部長	國保能克
都市整備部長	戸田崇
都市整備部技監	田中良一
上下水道局長	牧野修一
道路河川整備課長	河田正雄
道路河川維持課長	田中修
土木管理課長	福田健治
公園緑地課長	菊池照見
都市計画課長	深津悟
市街地整備課長	石塚昌平
住宅課長	大野和久
建築課長	柿沼宏和
企業経営課長	出井均
水道建設課長	渡辺精一
参事兼下水道建設課長	坂田知司

平成31年第1回栃木市議会定例会
予算特別委員会建設分科会議事日程

平成31年3月14日 建設常任委員会終了後 全員協議会室

日程第 1 議案第1号 平成31年度栃木市一般会計予算（所管関係部分）

日程第 2 議案第6号 平成31年度栃木市水道事業会計予算

日程第 3 議案第7号 平成31年度栃木市下水道事業会計予算

◎開会及び開議の宣告

○分科会長（青木一男君） ただいまの出席委員は7名で、定数に達しております。

ただいまから予算特別委員会建設分科会を開会いたします。

（午前10時20分）

◎諸報告

○分科会長（青木一男君） 当分科会に送付されました案件は、各分科会議案送付区分表のとおりであります。

◎議事日程の報告

○分科会長（青木一男君） 本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

◎議案第1号の上程、質疑

○分科会長（青木一男君） ただいまから議事に入ります。

日程第1、議案第1号 平成31年度栃木市一般会計予算の所管関係部分を議題といたします。

なお、本予算に対する説明は、2月22日に開催された予算特別委員会全体会及び各分科会説明表の送付をもって済んでおりますので、分科会での説明は省略いたします。

また、分科会では質疑のみを行い、討論、表決については3月22日金曜日に開催される全体会において実施しますので、よろしく願いいたします。

これより審査に入ります。

お諮りいたします。審査の順序につきましては、まず歳出各款ごとの質疑、次に歳入、債務負担行為を一括した質疑の順序により進めたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

なお、執行部の答弁に際し、質問の内容によりましては担当部長にご答弁いただくこともありますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

まず、歳出各款ごとの質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、一問一答の方法により、ページ数もお知らせ願います。

2款総務費中、所管関係部分の質疑に入ります。予算書は138ページから151ページです。

質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ないようですので、次に移ります。

4款衛生費の質疑に入ります。予算書は214ページから217ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ないようですので、次に移ります。

8款土木費中、所管関係部分の質疑に入ります。予算書は256ページから283ページです。

質疑はありませんか。

中島委員。

○委員（中島克訓君） 263ページなのですが、そこで通学路安全施設整備事業費1,550万円、前年度、平成30年度と比べますとかなり大幅な増額になっておりますが、どのような安全施策をどこで講じていく予定なのかお伺いしたいと思います。

○分科会長（青木一男君） 田中道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（田中 修君） ただいまの中島委員のご質問にお答えいたします。

今年度は、昨年度来におきましては、各通学路の交通安全施設整備ということで区画線等の設置を行ってきたわけでございますけれども、これにつきましては来年度250万円ということで、ほぼ前年度と同じような内容で行っていきたいと思っております。

ただ、来年度におきましては、片柳1丁目、これの薄層カラー舗装工事を行う予定でございます。これにつきましては、現在のところ事業費としては1,300万円を見通しております。内容につきましては、おおよそ1キロのカラー舗装を行うということで、栃商高の東側、法務局のどうか、南側の通りになりますか。東西の通りになると思うのですけれども。これにつきましては、警察との協議が終わりまして、来年度補助事業として行う予定でございます。そういった関係で来年度増額になっておりますので、ご了解をいただきたいと思っております。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 中島委員。

○委員（中島克訓君） わかりました。カラー舗装にするというふうなところが大幅な増額の要因かなと、今の答弁ですと。それは、車道と歩道の関係ですよ。歩道側をカラー舗装にするというふうなことでよろしいわけですよ。

○分科会長（青木一男君） 田中道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（田中 修君） そうです。現在のところの予定といたしましては、真ん中にセンターラインが入っている道路でございまして、これにつきましては、かなり往来があって、通学路として逆に危険であるというような、幅員が狭い中での7メートル道路でございまして、それにつきましては歩行者の安全の確保ということで、よくグリーンベルトということで委員の皆様方もご存じかと思うのですが、緑色に、歩行者を確保するような道路として各所で見られるかと思っておりますけれども、そういったイメージの中で、歩道がない中でも安全を確保したいということで施工す

る予定でございます。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 中島委員。

○委員（中島克訓君） 要望になるかと思うのですが、やはり通学路を見ますと、細いところ、朝、通勤時間帯にぶつかりますので、かなり子供たちも危険なところを通っていると思いますので、そういうのをぜひ各地に普及していただければ、子供たちの安全を守るというふうなことにもなると思いますので、今後ともどうぞよろしくお願ひしたいと思います。要望です。

○分科会長（青木一男君） 小久保委員。

○委員（小久保かおる君） 159ページの木造住宅耐震化促進事業費なのですけれども、5,117万円とありますけれども、先ほど見込みがないということで、補正で減額をしましたけれども、これに対しての要因について、済みません、この金額について教えていただきたいのですけれども。

○分科会長（青木一男君） 柿沼建築課長。

○建築課長（柿沼宏和君） この案件につきましては、先ほど補正減ということで上程させていただいたのですが、実は6月、9月に補正をさせていただきまして、ちょっと、十分とり過ぎたというか、9月以降件数が足りなくて、要望が少なくて補正減させていただきました。こちらの今回要求させていただいた5,117万円につきましては、これは今回の6月、9月補正分、それとほぼ同額でありまして、実際改修として2件、そして改修プラス設計で8件、あと建て替えとして40件を見込んだ要望をさせていただいております。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 氏家委員。

○委員（氏家 晃君） これは、主要事務事業のほうでご説明いただいているのですけれども、先ほどご答弁がありましたが、今年度は2回の増額補正、先ほど減額補正ということで、事業費のほうは足りたということで減額になったということで、一安心はしているのですが、先ほど来年度の見込みということもお話しいただきましたが、同額、今年度と比べると2,471万円ということで、十分足りるということで組んでいると思うのですが、この耐震化の補助金が、PRされればされるほど、またニーズのほうが高まってくるかと思うのですが、臨機応変にご対応をお願いしたいと思うのですが、ご答弁をお願いいたします。

○分科会長（青木一男君） 柿沼建築課長。

○建築課長（柿沼宏和君） ご質問にお答えいたします。

これは毎年、毎年件数とか、そういったものの統計をとっていながら、平成30年度予算につきましては、ちょっと無理があるかなという中でやったところなのですが、今回、今年と比べまして、それに見合った、あと昨年度はPRとしての全戸配布、そういった中で、今年度もPRは十分しているつもりなのですが、去年と比べまして、全戸配布はどうかと考えているところな

のですけれども、流れとして、あと消費税とか、そういったものもあるのですが、そこは予想がつきにくい部分があるのですが、この計上した予算の中で、何とか今のところできると判断して予算計上させていただきました。

○分科会長（青木一男君） 氏家委員。

○委員（氏家 晃君） 続きまして、265ページ、スマートインターチェンジ整備事業費ということで上がっているわけですが、先ほど補正の答弁の中で、物件移転等補償金の繰越明許、事業進捗には、その件に関しては影響ないということでご答弁いただいたのですが、来年度予算に上げてあります物件移転等補償金4,300万円、これが事業の進捗にもしかすると影響してくるとか、そういったことはあるのですか。

○分科会長（青木一男君） 河田道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（河田正雄君） 4,300万円につきましては、主なものは上下水道の移転補償でございます。先ほど申しましたのは、当然用地の件と補償の件でちょっと、お一人の方とまだちゃんとした回答が得られないというのが今の現状でございます、その件がちょっと。あと、埋蔵というか遺跡の関係で、ちょっと想定外のものが生まれていますので、あと2年間工事で完成を予定していますけれども、今ちょっと懸念されるのは、埋蔵の遺跡の関係と、あと1人の方が、交渉をまだ進めているということがちょっと懸念されるところでございます。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 氏家委員。

○委員（氏家 晃君） 今聞こうと思っていた遺跡調査業務委託料5,000万円ということで、これは調査をして、保存しなければいけないとか、移動しなければいけないとか、そういった可能性も十分あるわけでございますか。

○分科会長（青木一男君） 河田道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（河田正雄君） 予備調査というか、それでちょっと出たものですから本調査をするのですけれども、その可能性としては、高速道路、スマートインターの前にやったときも、多少の遺跡は出ました。それと同様な形なので、私どもとしては、その位置づけというのは、そこまで重要度ではないと思っているのですけれども、その結果として、その位置づけがどんなことになるかによって、重要なものが出れば、もっとそこにお金をかけて、工事に影響が来る可能性もございますけれども、その影響がないような形で担当課としては取り組んでまいりたいと思っています。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 氏家委員。

○委員（氏家 晃君） 2年後の供用開始ということでございますので、それに向けて鋭意努力をしていただきたいと思っておりますし、ご要望いたします。

それと、この整備事業費、地方債ということで1億9,520万円借入れを起こすわけでございますが、これは後年度に交付税措置等があるものかどうか、わかりましたらご答弁いただきたいと思っております。

○分科会長（青木一男君） 河田道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（河田正雄君） 済みません、詳細が……もうちょっと具体的にどの案件だか、よろしいでしょうか。

○分科会長（青木一男君） 氏家委員。

○委員（氏家 晃君） 主要事務事業の説明でご説明をいただきました、予算額4億2,746万2,000円の内訳、国庫支出金が2億405万2,000円、地方債が1億9,520万円の中です。

○分科会長（青木一男君） 河田道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（河田正雄君） 申しわけございません。この事業につきましては、国庫支出金2億400万円等で事業を進めてございますけれども、その裏負担分を地方債ということで充てていきますので、その数字が、1億9,000万何がしが、そういうことでなっております。

○分科会長（青木一男君） 氏家委員。

○委員（氏家 晃君） この地方債の1億9,520万円というのは、後年度に交付税措置等があるものなのかどうかということでご質問したのですが、わかりましたらご答弁を。

○分科会長（青木一男君） 河田道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（河田正雄君） 交付税措置の関係は、あれなのですけれども、この地方債につきましては、交付税措置がある地方債ということで財政当局から聞いておりますので。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 氏家委員。

○委員（氏家 晃君） 交付税措置があるということなのですが、どの程度の割合とか、そういったところまではまだわからないかな。わかればご答弁を。わからなければ大丈夫ですけれども。

○分科会長（青木一男君） ご答弁できますか。

河田道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（河田正雄君） 申しわけございません。9割の率で返ってまいります。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 大谷委員。

○委員（大谷好一君） 263ページ、生活道路舗装補修工事費、まずは2億円確保していただきましてまことにありがとうございます。

ところで、今年度何か所を予定しておられますか。

○分科会長（青木一男君） 田中道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（田中 修君） ただいまの委員のご質問にお答えしたいと思います。

これは来年度のほうでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○道路河川維持課長（田中 修君） 来年度につきましては、現在33カ所で総額2億円を予定しております。内訳もあれですか。

〔「後で行きます」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） よろしいですか。

千葉委員。

○委員（千葉正弘君） 関連ということになります。

今のところの上のところ、舗装修繕事業費の幹線市道舗装修繕費ということで2,000万円ということなのですが、これは逆に金額が随分少ないなという感じがするのですが、どうなのでしょう。

○分科会長（青木一男君） 田中道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（田中 修君） お答えします。

これらにつきましては現在、市道1001号線といいまして、旧農免道路の舗装修繕を行っています。現在都賀の家中地区を今年度も行っておりまして、その延長ということで来年度も行うわけございまして、なかなかこれにつきましても、金額的なところで、2,000万円の金額でどこまでできるかといいますと、恐らく150メートル程度なのです。改築に当たりましては、かなり往来が激しい関係で、現在は再生の路盤をつくりまして、セメント処理をするような工法をとっておりまして、こういったところで、かなり高額なところでコストもかかってくるということで、来年につきましても2,000万円というふうな金額の中で実施をしたいというふうに考えておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

○分科会長（青木一男君） 中島委員。

○委員（中島克訓君） 265ページなのですが、繰越明許費のほうでも出てきたのですけれども、大平地域の新しい市道1061号線歩道整備事業費なのですが、何年間かこれはずっと継続でやっていらっしゃるのですけれども、ここは何筆ぐらい筆数であるのか。それと、相続の問題とかでまだ解決していないというふうなことでありますけれども、今後の見込みはどのような状況なのか、わかりましたら教えていただきたいと思います。

○分科会長（青木一男君） 河田道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（河田正雄君） この件につきましては、前回の委員会でも答弁いたしまして、地権者の方から内諾を得まして、寄附行為をさせていただきました。

そのときちょっと、千葉委員だと思うのですが、全部ということもあったのですけれども、1筆、相続関係、本当に微々たるものなのですけれども、それに要している部分でございます。今回予算に上げましたのは、農業用水の事業でございます、ちょっとその予算が確保できなかった

こともありますけれども、二、三年は要することでございます。

先ほど言いました用地1筆なのでありますけれども、一緒の方なのでありますけれども、その方はその事業に合わせて交渉を進めてございますので、今回の工事については影響なく、全て得られると思います。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 小久保委員。

○委員（小久保かおる君） 271ページの河川・水路清掃事業費について、清掃業務委託料が本年度と比較しまして倍増しているのですけれども、その要因についてお伺いいたします。

○分科会長（青木一男君） 田中道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（田中 修君） ただいまのご質問につきましては、今年度におきましては、市内の各河川あるいは水路といったところにつきましては、維持管理を行っているわけでございますけれども、実はこの清掃業務の委託が増えた理由というのが、これまで人夫賃というような形で今まで計上がされていたもので、それで人夫の手間としてお支払いをしていた経緯がございます。これにつきましては、本来委託的な中身がございますので、来年度から正式な委託料として清掃業務につきましては実施をしていきたいということで、振り替えているような形になってございます。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 小久保委員、よろしいですか。

○委員（小久保かおる君） はい。

○分科会長（青木一男君） 森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 275ページで、都市計画……

○分科会長（青木一男君） マイクお願いします。

○副分科会長（森戸雅孝君） 275ページです。その中で、都市計画情報システム導入委託費ということで、3,199万9,000円ということで新たに歳出が盛り込まれているのですけれども、これは昨年度の予算には出てこなかったように思えるのですけれども、この取り組みの意図するところと、あと内容についてお伺いできればと。

○分科会長（青木一男君） 深津都市計画課長。

○都市計画課長（深津 悟君） お答え申し上げます。

この都市計画情報システムにつきましては、今年度は予算のほうはございません。来年度からの新規ということになります。これも都市計画情報のオープンデータ化ですね、それで市民や事業者の利便性向上を図る、あと事務の効率化ですね、図るために導入を図ることになりまして、単年度でやっていきたいというふうに考えているところでございます。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 済みません、私がちょっと聞き逃したというか、主要事業で新規とい

うことで出ていましたので、大変失礼しました。わかりました。失礼しました。

○分科会長（青木一男君） 中島委員。

○委員（中島克訓君） 271ページの下のほうなのですけれども、主要事務事業で宇都宮亀和田栃木線地域排水整備事業費（都賀合戦場）ということで、県の事業であります。大体が東武線の下で推進工法による雨水の管が布設されてきて、大分水の流れもこれからよくなるかなとは思いますが、今この地域の雨水の排水というのは、この亀和田線の両側に、U字溝に一旦雨水を落とすことで、それで持っていくというふうなことですけれども、この東武線の下ができたものから、今後はその中、市道の中にあるU字溝というのですか、そういったのもやはり整備をしないと、そちらに雨水を流し込んで処理するというふうなことになるかなと思うのですけれども、市のほうとすると、今後の計画ですかね、これが完成した後の計画というのが、もしあるのであればお示ししていただきたいと思うのですけれども。

○分科会長（青木一男君） 河田道路河川整備課長。

○道路河川整備課長（河田正雄君） この事業につきましては、今おっしゃったように、県に対して県が事業をしまして、市が応分の負担を回している事業なのですけれども、今、現段階でお答えできるのは、とりあえずその機能的なものというか、市のほうで工事をやらないと、それが生かせないということではなくて、今回県でやった事業でその排水対策は見込めるということの事業でございます。そのほかに、直接的なここの都賀のエリアではなくて、ほかのエリアがあれば、またその沿線の中で、検討はいたしますけれども、都賀エリアの排水を回収するということは、新たな事業がなくても効果があるというか、即対策というか講じられている事業ということで認識してございます。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 中島委員。

○委員（中島克訓君） この地域は河川がほとんどないものですから、ここの排水に雨水を流し込むのが唯一の雨水の排水処理のことなのですけれども、今後この地域にはショッピングモールの建設とか、いろいろとありまして、雨水の関係で規模を縮小するとか、そういうふうなことも言われているものですから、これを十分に活用していただいて、今後地域の発展のためにも寄与していただければよろしいかと思っておりますので、そういった点も踏まえて市のほうの雨水対策をよろしくお願ひしたいと思うのです。これは要望とすることで、お願いいたします。

○分科会長（青木一男君） 田中道路河川維持課長。

○道路河川維持課長（田中 修君） 済みません、先ほど小久保委員のほうから、河川・水路清掃事業費のご質問がありまして、私のほうでご回答を差し上げましたが、ちょっと内容を誤っております。改めてちょっとお話ししたいのですけれども。

来年度513万9,000円、これは金額的には変わりはない、今年度と変わらないかと思っております。先ほ

どちょっと増額というお話を差し上げていたのですけれども、要は河川水路の清掃につきまして、今年度は人夫賃としてお支払いをして清掃を行っていた部分を、来年度委託料のほうに振り替えをしております、金額的には昨年度、平成30年度の当初ですと、同じような513万9,000円かと思えますけれども、来年度におきましても513万9,000円、同額の予算のほうを計上させていただいております。ただ、内訳としましては、これまで250万円ほど、ほぼ半分が賃金としてお支払いしていた水路清掃の部分が、委託料のほうに振り分けになってございますので、その辺のところできっと訂正をさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○分科会長（青木一男君） よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

千葉委員。

○委員（千葉正弘君） 277ページなのですが、磯山地区の土地区画整理事業費ということで、内容についてはこの内容でということ、主要事務事業でも組合設立で目指していくということなのですが、現在の進捗状況、順調なのか否かというだけでも結構ですので、教えていただきたいと思います。

○分科会長（青木一男君） 石塚市街地整備課長。

○市街地整備課長（石塚昌平君） お答えを申し上げたいと思います。

磯山地区につきましては、昨年ですね、今年度の8月に、組合設立準備会を設立を、発足しております。それによりまして、組合による区画整理事業を行う準備ができたという状況でございます。なおかつ法手続、いわゆる市の技術支援に対する申請、それと区画整理区域のエリアの確定ということで縦覧を行っております。いわゆる土地区画整理法に基づく法手続も進んでいるという状況でございます。来年、平成31年度組合設立を目指すという状況になっております。地権者17名の2.1ヘクタールの区画整理ということで、小面積ですけれども、地域の地権者全て同意を得られておりますので、順調に進んでいるところでございます。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 283ページです。定住促進支援事業費の中のまちなか定住促進住宅新築等補助金、新年度に1億2,900万円が盛り込まれていますけれども、これは非常に人気の施策ということで、平成30年度も2次、3次ということで追加補正をされていましたが、これは新年度に向かってもう申し込みが出てきているのか、ちょっとその辺の進捗をお聞かせください。

○分科会長（青木一男君） 大野住宅課長。

○住宅課長（大野和久君） 委員がおっしゃるとおり、この補助金は大変人気でございます、補正させていただいた分も今年度分については、もう既に予算の執行残がないという状況になっております。新年度分については、4月1日以降受け付けるという予定ですが、現在は窓口にはた

くさんのお客さんが見えていますので、そのような方には、新年度予算でお支払いするというお話を
する場面もございますけれども、今年度のように補正を繰り返すということがないように、今回
は予算計上させていただきましたので、今回平成31年度につきましては、当初の予算で何とかやり
くりをしたいというふうに考えております。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 氏家委員。

○委員（氏家 晃君） では、森戸委員と同じ283ページの定住促進支援事業費のところ、ツアー
の業務委託料ということで、委託先がわかればご答弁いただきたいと思います。

○分科会長（青木一男君） 大野住宅課長。

○住宅課長（大野和久君） 実はこのツアーなのですけれども、当初は実は日本旅行から申し入れが
ありまして、最初は随意契約でやっておりました。しかし、今年度から入札に切り替えましたとこ
ろ、東武トップツアーズが今年度は落札いたしました。東武トップツアーズが落札したというこ
から、従来は都心部までバスで迎えに行き、また帰りもお送りするというふうな形をとっており
ましたけれども、また栃木市の移住施策が、東武線の利便性というのを強く打ち出している関係か
ら、今年度からバスではなく、東武の特急を使って来ていただくというスタイルに変えました。そ
の結果、コストも下がりましたし、また都内から1時間で来られる利便性というのもアピールでき
て、利用者の方からは大変ご好評をいただいております。

ちなみに、今回バス2台分ということで80名を募集したところ、500人近くからの応募があり、
大変盛況でございますので、今後もコストを押さえつつ、なるべく多くの方に訪れてもらえるよう
に、今後も入札で、ちょっと低価格を図って、より一層回数を増やしていきたいというふうに考え
ております。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 氏家委員。

○委員（氏家 晃君） 東武さんが入札にして、落札をして、特急で来ていただけるということで、
本当にここは東武線が非常に有効な鉄道の移動の手段となっておりますので、非常にいいことか
と思っております。

その下の下、通勤の特急券の補助金、また通学定期券の補助金なのですが、今年度の申請件数に
基づいて来年度の予算を組んでいると思うのですが、今年度の件数を教えていただければと思いま
す。

○分科会長（青木一男君） 大野住宅課長。

○住宅課長（大野和久君） まず、通勤者の特急券購入費補助、これは通称で「楽賃」というもので
ございますけれども、これは実施して1年半になりますけれども、初年度が約180名ほどでしたが、
現在では220名ほどの申請をいただいております。実は今月いっぱいまで請求を受けることになってい

ますので、まだ数字自体は、申しわけありませんが、確定はしておりませんが、当初予定した以上の申請があるというふうな状況になっております。

もう一方の通学者の定期券の購入費補助でございますけれども、これは今年度から新たに始めたものでして、若者の市外への流出を防ぐ、特に東京への転入を防ぐという意味で実施しておりますけれども、こちらのほうも徐々に周知が進みまして、現在のところ七、八十の申請が出ております。ただ、こちらについても今月いっぱい受け付けることになっておりますので、まだ若干数値は伸びるのかなと思います。ただ、現時点では、100件まではちょっと届かないというふうに想定しております。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） 済みません、今の氏家委員の関連質問なのですけれども、今の通学定期券購入費補助金300万円ということですが、この補助率というのは、実際に定期券を購入した場合、どのくらいの補助が、それぞれ学生によって違うかと思うのですけれども、補助率についてちょっと教えていただけますか。

○分科会長（青木一男君） 大野住宅課長。

○住宅課長（大野和久君） 当然乗る区間によっても料金は変動しますけれども、栃木市内最長ということで、西方地域からの想定をしましたところ、年間の通学定期代、これは学生割引が非常にききますので、都内まで6万七千幾らだったと思います。それに対して、おおむね3分の1程度の補助をしようということで2万円というふうに設定いたしました。ですから、これに申請をされた方は、恐らくほとんどの方が2万円はもらえるというふうな状況になっております。

以上です。

○分科会長（青木一男君） 森戸副分科会長。

○副分科会長（森戸雅孝君） そうすると、上限は2万円ということによろしいのですね。そして、それ以下の場合は、その補助率というのは3分の1ということで理解してよろしいのでしょうか。

○分科会長（青木一男君） 大野住宅課長。

○住宅課長（大野和久君） そうですね、上限を2万円というふうに設定させていただいております。ただ、額がもうちょっと低かったとしても、年度途中で退学とかがない限りは、皆さん2万円には該当しますので、現実的には一律2万円の補助というふうな形になっております。

○分科会長（青木一男君） 小久保委員。

○委員（小久保かおる君） 283ページの市営住宅リフレッシュ事業1億2,203万7,000円とあるのですが、平成30年度当初予算は5,485万5,000円で、城内南、平井、本町とあるのですけれども、今年はこの市営住宅でリフレッシュ事業をやられるのでしょうか。

○分科会長（青木一男君） 大野住宅課長。

○住宅課長（大野和久君） この市営住宅リフレッシュ事業でございますけれども、計画に基づきまして毎年3件から4件のリフレッシュ事業を行っております。ただ、今年度金額が伸びたことと、またちょっと事情が違いますのは、実は城内南市営住宅の1号棟というのがあるのですけれども、ここは5階建ての建物で、市内に5階建てというのはわずかしかなないのでございますけれども、実は以前耐震診断を行ったところ、耐震性が著しく劣るということが明らかになりまして、ここの耐震診断をせざるを得ないというふうな状況になりました。その耐震改修工事を実は平成31年度に実施するというので、その費用といたしまして5,335万円を計上させていただいたことから、今年度は予算額は大きく伸びているというふうな事情でございます。

以上です。

○分科会長（青木一男君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ないようですので、次に移り……

〔手を上げている〕と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ありますか。失礼しました。

小久保委員。

○委員（小久保かおる君） 済みません。283ページの民間賃貸住宅家賃助成金事業費についてなのですが、家賃の一部を補助する助成金とありますけれども、民間アパートの空き部屋を市営住宅として使用するための補助金ということなののでしょうか、確認の質問をさせていただきます。

○分科会長（青木一男君） 大野住宅課長。

○住宅課長（大野和久君） まずはそのとおりでございます。ただ、先ほどの質問とも関連いたしますけれども、今回耐震診断を行うに当たって、現在その工事を行う市営住宅に入居の方がいらっしゃいますので、その方を一時的またはご希望によってはその後継続してということになりますけれども、これを機にアパートに移りたいという方がいらっしゃれば、まず最初にこの補助金を利用して移転してもらおうというふうなことを想定しております。

以上です。

○分科会長（青木一男君） ほかによろしいですね。

ないようですので、次に移ります。

11款災害復旧費中、所管関係部分の質疑に入ります。予算書は342ページから343ページです。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ないようですので、以上で歳出各款ごとの質疑を終わります。

続いて、歳入、債務負担行為の所管関係部分を一括した質疑に入ります。歳入につきましては、52ページから117ページです。また、債務負担行為につきましては10ページです。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ないようですので、これをもって質疑を終了いたします。

◎議案第6号の上程、質疑

○分科会長（青木一男君） 次に、日程第2、議案第6号 平成31年度栃木市水道事業会計予算を議題といたします。

これより審査に入ります。

お諮りいたします。本案については、収入支出等を一括して審査いたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

ただいまから収入支出等を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、一問一答の方法で、ページ数もお知らせ願います。

質疑はありませんか。いかがでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ないようでありますので、これをもって質疑を終了いたします。

◎議案第7号の上程、質疑

○分科会長（青木一男君） 次に、日程第3、議案第7号 平成31年度栃木市下水道事業会計予算を議題といたします。

これより審査に入ります。

お諮りいたします。本案については、収入支出等を一括して審査いたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ご異議なしと認め、そのように決定いたします。

ただいまから収入支出等を一括した質疑に入ります。

なお、質疑に際しましては、一問一答の方法で、ページ数もお知らせ願います。

質疑はありませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○分科会長（青木一男君） ないようでありますから、これをもって質疑を終了いたします。

◎閉会の宣告

○分科会長（青木一男君） 以上で当分科会の審査は終了いたしました。

なお、分科会会長報告の作成については、正副分科会会長にご一任願います。

また、繰り返しになりますが、3月22日金曜日、午前10時から予算特別委員会全体会において分科会会長報告、質疑、討論、表決を行いますので、よろしくお願いいたします。

これをもちまして予算特別委員会建設分科会を終了いたします。

大変ご苦労さまでした。

（午前11時05分）